

一般質問



問 職員への意思伝達は

答 体制は整っている

△清水議員V
町長の行政姿勢、意気込みが全職員にあまねく伝わっていないところが町政の大きな障害になっていると思う。
町長は住民説明会で「看護師の確保と夜間診療再開は最大かつ最速を要する最重要課題

であり全力で取り組む」と言った。
にも係わらず町職員には町長の決意、その危機感、事の重要性が伝わっているとは到底思えない。事の重大さを全職員が認識していたか。
役場内における幹部会議の席上、病院事務長は機会あるごとに看護師募集の協力をお願いしていた。
しかしそのお願いは各課幹部の皆さんには町政最大の危機的問題として全職員一丸となつて解決に努めようという意気込み熱意が薄かったのではないか。
それゆえに各幹部から末端職員に伝わらなかつたのではないのか。
町民最大の関心事を町職員は町民と意識を共有しているのか。
町長は危機感を持って町職員に事態の重大さ、周知徹底させる行動を起こしたのか。
滝上町ホームページ

(HP)の看護師募集のページが給与改定後3カ月間放置されていた。
町長は末端職員まで病院問題を含め自らの施政方針が行き届いていると考えているか。
△長屋町長V
住民説明会での発言は今も変わっていない。昨年の定例幹部会議で、病院事務長から看護体制の危機の報告があった。
職員から潜在的な人材情報を提供してもらうように指示をした。
各課長を通じてそれぞれの課の職員にも伝達をされている。
HPの未更新の件については、反論の余地はありません。
今後町から発信する全ての媒体においては正確かつ迅速な情報提供が出来るように努めたい。
私の考え方は職員に行き届いている。各課

の役割分担の中で職員は自分の仕事について全力を傾注している。重要な問題は、情報共有し、同じ視点に立って職員も仕事をするということが基本です。事の認識に違いがある職員がいるということなので、今後十分考えが伝わるようにしたい。
△清水議員V
町長の意思を末端まで伝達し、指導調整するポストが必要だと思ふ。
施政方針を含め職員全員にその意思を伝達、徹底するプランを聞きたい。
前副町長の施策で改善する部分があったら、聞きたい。

の役割分担の中で職員は自分の仕事について全力を傾注している。重要な問題は、情報共有し、同じ視点に立って職員も仕事をするということが基本です。事の認識に違いがある職員がいるということなので、今後十分考えが伝わるようにしたい。
△清水議員V
問題意識を町長から臨時を含む全職員が共有することが極めて重要だ。
施政方針のサブタイトルは滝上町民憲章そのものです。それを認識していない職員がほとんどだ。
機会あるごとにこの町民憲章を斉唱し、町長・副町長と全町職員、更に全町民の皆さんの意識の共有の一助とすることは出来ないか。
△長屋町長V
議員からの朗唱の提案も一つの方法だと思うが、町民憲章がこの町政執行に広く浸透するように今後とも取り組んでいきたい。

一般質問

問 朽ち果てた町施設の撤去について

答 計画的に進めている

△清水議員▽

施政方針で、廃屋解体などの景観整備を行うとされている。

しかし再利用の見込みもなく、廃墟廃屋と化した町施設が撤去されることなく放置されているのはなぜか。

目に余る廃墟と化した町施設の中には上白鳥小中学校校舎など教育関連施設だけでも多数ある。

更には旧町民センター、旧一区会館、桜ヶ

丘スキー場展望台等多数ある。

再利用しない施設を放置したままにする理由はどこにあるのか。解体撤去の意思があるのか聞きたい。

△長屋町長▽

景観上、或いはその危険度から早急に撤去を要するもの。幹線道路に隣接しているもの。将来使用の見込みが無いもの。それらを優先して解体をしてきた。幸町会館は国の4割補助の見込みが付いたので今回予算措置した。

町民センター等も補助申請しており、その他も計画的に解体を進めている。廃校なども、放置して置こうとは考えていない。

学校施設は大きいので撤去費用が多額になる。施設の数、現状を把握し、計画性を持って取り組んでいきたい。

△清水議員▽

町職員と町民有志から構成する現地調査チームを作り検証しないか。

幹線道路ということであれば滝奥の校舎、教員住宅も対象になる。更に町施設で使用停止後再利用の見込みが無いと決した時は早期に撤去整理を行うことは検討できないか。

△長屋町長▽

早々に壊してしまうということは壊す財源、多額の費用がかかる。再利用するしないは状況により変化する。

平成23年、職員が町内の公共施設、学校等を含めたすべての空き屋を調査している。これらの資料を活用して解体等についても適宜対策を講じていきたい。



旧一区会館



旧町民センター



旧上白鳥小中学校



旧滝奥教員住宅